

平成 27 年 8 月 17 日

住友大阪セメント株式会社
総務部IR広報グループ

高知工場 地盤改良材(当社製品名;タフロック)生産設備増強について

住友大阪セメント株式会社(社長:関根福一)は、高知県須崎市に位置する高知工場で、地盤改良材の安定供給及び拡販のため、設備投資をして地盤改良材の生産設備増強を実施致します。

1. 工事の目的・効果

当社の主力工場である高知工場にて、堅型スラグミルを導入することにより、地盤改良材製造工程を一新し、生産数量を増加させる事ができます。同工場での地盤改良材生産体制は500千トン/年(現行比+200千トン)を目指します。

今後、オリンピック・パラリンピック関連工事が見込まれる東京都をはじめとする大需要地の関東地区向け、および震災復興需要が継続して見込まれる東北地区向け等、近年、地盤の流動化防止や土質の改良工事等で高まっている地盤改良材需要を最大限に取り込むことが期待できます。

2. 実施範囲及び投資金額

投資金額 26 億円見込み

3. 今後の予定

平成 27 年度下期より一部既存設備の解体工事を始め、平成 28 年 7 月本体工事の着工を予定。平成 29 年 1 月末の完工を予定。

(高知工場の概要)

- ・所在地:高知県高知工場
- ・最大生産数量 435万トン/年

(本件に関する問い合わせ先)

住友大阪セメント株式会社 総務部 IR 広報グループ
TEL:03-5211-4505 FAX:03-3221-4651

以上

(住友大阪セメント株式会社)